

善徳

七三四一〇〇〇四

広島市南区宇品神田四一十一一八

電話 〇八二二五一一六〇二九

善徳寺

新型コロナウイルスの感染拡大がなかなか終息しません。とてもやっかいなウイルスです。

予定通りに進んでいくと思っていた日常が、行動の自由を奪われ、いつ身近にウイルスが迫ってくるかもわからないという、不測の事態に直面しています。

そういう不安からか、五木寛之の「大河の一滴」という、二十年余りに刊行されたエッセイが、今またよく売れているそうです。

この本は、氏が龍谷大学で仏教を学んだ後に書かれたもので、仏教や浄土真宗の思想が、色濃く反映されています。

冒頭、「これまで二度自殺を考えたことがある」という絶望的な心境の話から始まり、読み進むうちに、次第に、今を生きる元気が

湧いてくるような本です。

氏は、少年時代を満州で過ごし、敗戦時に人間の極限状態を経験しました。その後、小説家として成功するまで、又成功したのちも様々な経験を積み重ねて来たことでしょう。

そして、氏は、五十才前後で、四年間断筆して仏教を学ばれました。それは、この世の経験だけでは解決できないものを感じられたからではないでしょうか。氏は、プラス思考に生きることだけを勧めているわけではありません。マイナス思考とか、ネガティブ・シンキングも、実は人間にとって大事なことでないかと言われます。

光があれば、影が必ずできている世界です。そのすべてを受け入れて生きていくのが仏教的世界です。

お経とは、インドの言葉では「スートラ」といい、縦系のことです。縦系で木簡や、ネックレスをつないだのが語源とされています。そのように、釈尊の説かれたお経とは、人間の人生に揺るがない筋を通すようなものです。

不安定な世の中、価値観の中で、心が惑わされて右往左往するのではなく、何もかも受け入れた上で、安心して生きてゆく。そう目覚めさせてくれるのが、仏教です。

こうあるべきと、信念を持って生きているつもりでも、世の中がひっくり返ると価値を失ってしまいます。そして、この度の新型コロナウイルスのように、何が起きるかかわからない世の中に暮らしているのが、私たちです。良寛さんは、一八二八年、

越後で起きた大地震で、知人が被災された時のお見舞い状に、「災難にあつ時節には、災難にあつがよく候死ぬる時節には、死ぬが

よく候。」と書かれています。

一見冷たいようですが、自分の力ではどうしようもない事実遭遇した時には、そのまま受け入れた方が、苦しみ乗り越えやすいということでしょう。これもお釈迦様の説かれた、第二の矢は受けない生き方をわかりやすく表現された言葉です。

写真 乙井みどり



行事案内

秋季永代経法要

十月二十日(火) 昼席 夜席

二十一日(水) 朝席 昼席

講師 北九州市小倉南区

山下信順先生

この度の講師は、葦原理江先生にご紹介いただいた、初めてのご縁の先生です。どうぞ、万障お繰り合わせの上、楽しみにお参り下さいませ。

秋季彼岸会法要

九月九日(水)

昼席 一時より勤行
夜席 七時半より勤行

講師 八本松町 叶裕子先生

九月八日(火) 午後一時よりおみがきをします。

お手すきの方はお手伝い下さい。

いきいき

百歳体操を

始めます

七月から、善徳寺を会場にして、百歳体操を始めることになりました。地域の皆さまどなたでも参加できますので、皆で楽しく、健康な体作りに励みましょう！

日時 毎週火曜日

午後一時半より、二時半まで

◎七月七日に第一回目をを行います。インストラクターが指導しますので、是非ご参加下さい

会場 善徳寺一階ホール

持ち物 タオル、水分補給の飲料、ポイント手帳

◎いきいきポイント対象の活動です。ポイント手帳を必ずご持参ください

常朝事

朝事を六月から再開してあります。早朝の清々しい空気のもと、散歩がてらにお寺にお参りしてはいかがですか？

おなじみの方と楽しくおしゃべりして、大きな声でお勤めすると、気分が晴れますよ。是非一度お参りしてみてください。

毎日朝七時より八時まで

内容 正信偈、讃仏偈の勤行後、経典解説

写真 中土井弘子



大谷本廟納骨のご案内

(分骨といつて、喉仏など一部だけの納骨です)

大谷本廟内善徳寺納骨壇

- 一人用 二万円
- 五人用 五万円
- 六人用 十万円

善徳寺墓地のご案内

納骨壇

- 一区画 四〇万円
- 三区画 八十万円

元宇品墓地

- 一区画海側 六〇万円
- 一区画山側 八〇万円
- 無縁納骨墓 五万円

墓地管理費

- 一区画 年間三千元
- 二区画以上 年間五千元

令和二年度

回忌法要のご案内

一周忌 平成三十一年 (令和元年) 寂

三回忌 平成三十年寂

七回忌 平成二十六年寂

十三回忌 平成二十年寂

十七回忌 平成十六年寂

二十五回忌 平成八年寂

三十三回忌 昭和六十三年寂

五十回忌 昭和四十六年寂

法要の日時については、お寺にお問い合わせ下さい。

敬 弔

お浄土に参られた方を謹んでお知らせ致します。

- 四月二十二日寂 吉島新町 北崎敏彦様 行年八十六才

五月四日寂 神田五丁目 寺西征司様 行年七十八才

六月一日寂 神田五丁目 半田 斌様 行年八十才

六月四日寂 佐伯区三宅 金丸万壽子様 行年七十二才

六月六日寂 船越四丁目 田立昌和様 行年六十才

六月十九日寂 海田町 小林勝歳様 行年七十五才

六月二十日寂 東五丁目 小池文子様 行年九十五才

六月二十日寂 東七丁目 眞鍋安正様 行年七十九才

郵便番号 七三四一〇〇〇四
広島市南区宇品神田四丁目十一番八 宗教法人 善徳寺
もみじ銀行宇品支店(普) 〇〇八・〇六八六二三四

「善徳」年九回発行
護持会員には毎回配布
ホームページ「宇品善徳寺」